

こうげ 78 議会

2025.5

すくすく育て上毛っ子！



令和7年 第1回 定例会(3月議会)

会期：令和7年3月4日(火)～14日(金)

「2040年人口1万人」の実現に向けて

令和7年度 町の予算 **総額 57億8600万円可決！**

議案議決結果及び議員別賛否一覧表 4

一般質問 ここが聞きたい！ 5人登壇 6

報告 総務産業建設常任委員会議員研修・豊築地区自立支援協議会 11

住民登場コーナー・表紙によせて・議会傍聴のご案内・編集後記 12

住民登場コーナー

interviewer 高西 正人

のびのびと子どもを 育てられていると感じます

大村 真司さん・彩織さん
咲七さん・みみちゃんファミリー(宇野)



- Q ご結婚されてから、ずっと上毛町に住んでいますか？
A はい。平成26年からずっと住んでまして、11年になります。
- Q 子育て真っ盛りですが、大変なことはありませんか？
A 仕事終わりのお迎えの時間がバタバタで、毎日奮闘しています。
- Q 上毛町の子育て環境はどうですか？
A すぐに保育園に入ることができて、仕事をしながら子育てできています。また、子育ては結構お金がかかるので出産子育て応援金や赤ちゃん祝い金をいただけて、すごく助かりました。
- Q 生活環境はどうですか？
A 実家が近く、また、近所の方々も優しいので、のびのびと子どもを育てられていると感じます。
- Q 町がもっとこうだったらいいなと思うことはありますか？
A 中津市のサンリブシティーのような施設(なかつ・こどもいきいきプレイルーム)が町内にあると嬉しいです。
- Q 議会へ一言
A 子どもたちが、これからも安心して暮らせるまちづくりをお願いします。

》》》取材を終えて
上毛町には結婚・子育て・移住・定住に関するさまざまな祝金や補助金などがあります。新しい生活を始めるならぜひ上毛町へ！

表紙によせて

すくすく育て上毛っ子！

3歳の柚那さん、1歳の双子の弟 凪さんと妹 桃那さん。

今年、4月より保育園に通い始めました。3人の子育ては大変ですが、子どもは上毛の宝、すくすく成長してくれることを願っています。



議会傍聴のご案内

6月定例会の予定

6月3日(火) 午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

6月5日(木) 午前10時
本会議(一般質問)

6月13日(金) 午前10時
本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

■開催場所 上毛町役場大平支所2F議場

編集後記

廣崎 誠治

令和7年度がスタートしました！

スーパーセンター「トライアル」が7月に開店予定ということで、住民の買い物が便利になります。また役場トライアル方面の巡回バスが10月より新設されます。ご期待ください。

3月議会では令和6年度の補正予算、令和7年度の当初予算の審議などを行い、すべての議案において可決されました。審議がしっかり尽くされたかどうか、その内容がどうかなど、議会だよりをぜひお読みいただければと思います。

■議会広報特別委員会

委員長：三田 敏和 副委員長：高西 正人

委員：田中 唯登志、廣崎 誠治、岩花 寛之、大石 光一、渡辺 哲也

●ご意見・ご感想をお寄せください(FAX 0979-72-2033)

✉ gikai@town.koge.lg.jp





令和7年度一般会計予算

前年度に比べ**7億3000万円**の増

可決

予算額

57億8600万円

令和7年度上毛町の町政運営のための当初予算を審議し、可決しました。
議会は、住民の代表として住民の意思を町政に反映させる重要な役割を担っています。
事業の見直しや必要性の薄れた事業を廃止・休止し、より効果が見込まれる事業を推進していきます。

3 心から笑顔で輝くまちへ（安全・安心と優しい暮らしの実現）

●保健・医療・福祉活動の充実 ●防災・防犯体制の強化 ●自然・生活環境の保全

新規

介護人材確保事業 **54万円**
町内の介護サービス事業所に就職した方への支援策。

新規

家具転倒防止対策補助事業 **30万円**
地震発生時の被害防止及び軽減のための家具転倒防止器具の購入費用補助金。

新規

水防センター建設事業 **1億6420万円**
唐原地区河川防災ステーションの敷地内に、水防活動拠点となる水防センターの整備。

拡充

住宅用エネルギーシステム設置事業 **300万円**
太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートの設置費用一部助成。

4 輝くまちの基盤づくり（住みやすいまちの実現）

●生活インフラの充実 ●広域行政の推進 ●行財政運営の効率化
●公共施設マネジメントの推進

拡充

コミュニティバス運行事業 **1690万円**
運行台数を1台追加し、従来の町内巡回コースに加え、主要施設のみを巡回するコースを増便。



5 その他持続可能なまちづくりに必要な独自策

新規

町制施行20周年記念式典事業 **544万円**

新規

本庁舎駐車場拡張事業 **4041万円**

新規

大平支所屋上等改修事業 **7618万円**



「2040年人口1万人」の5つの重点施策 実現に向けて

1 子どもが輝くまちへ（子育て支援・教育の充実）

●子育て環境の充実 ●学校教育の充実 ●国際交流事業の発展

新規

医療相談アプリ導入事業 **49万円**
健康医療相談ツールとして24時間365日スマホで医師に相談できるアプリの導入。

新規

ICT機器(タブレット)等整備事業 **5759万円**
タブレット端末などの更新。

新規

友枝小学校トイレ改修工事 **4860万円**
和式トイレの洋式化及び床の乾式化改修工事。

拡充

産後ケア事業 **69万円**
産後支援を必要とする母子の生活支援。

新規

友枝小学校屋根外壁改修工事 **8453万円**
教室など天井の雨漏りや外壁塗装の改修工事。

2 たくさんの人で輝くまちへ（定住・交流人口の増加と社会参加）

●農林水産業の振興 ●商工業の戦略的振興 ●観光資源の創出・整備
●地域イメージの向上 ●協働のまちづくりとコミュニティ活動の推進
●生涯学習・スポーツの推進と伝統・文化の振興

新規

第3次上毛町総合計画及び第3期上毛町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 **839万円**
第3次総合計画及び第3期総合戦略の策定を行う。
(令和7年度～令和8年度継続事業)

拡充

上毛産品プロモーション事業 **90万円**
農林産物、加工品などを積極的にPRし、「新たなマーケット開拓」「上毛町の認知度の向上」を図る。

新規

定住ゾーン宅地開発事業 **2391万円**
2040年人口1万人に向け、移住・定住を促進するため、民間と連携した住宅施策。



▲川底柿のほし柿



▲ETかぼちゃ

定例会																						臨時会		議案名	令和7年第1回臨時会、第1回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表
発議第1号	議案第20号	議案第19号	議案第18号	議案第17号	議案第16号	議案第15号	議案第14号	議案第13号	議案第12号	議案第11号		議案第10号	議案第9号	議案第8号	議案第7号	議案第6号	議案第5号	議案第4号	議案第3号	報告第1号	同意第1号	議案第2号	議案第1号		
上毛町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	町道路線の認定について	令和7年度上毛町簡易水道事業会計予算	令和7年度上毛町農業集落排水事業会計予算	令和7年度上毛町後期高齢者医療特別会計予算	令和7年度上毛町国民健康保険特別会計予算	令和7年度上毛町一般会計予算 〈反対討論〉茂呂議員 自治体情報システムの標準化は今後町に大きな負担をもたらすことが懸念されるためなど。 岩花議員 公有地活用による過剰な設備投資や安価な販売は周辺の流通価格に影響を及ぼし、住民の財産価値を下げることになるため。 宮本議員 福祉や教育への手厚い対応と各種事業において行き届いた予算が計上されているため。	指定管理者の指定について(上毛町げんきの杜等)	上毛町手数料条例の一部を改正する条例について	上毛町簡易水道事業給水条例等の一部を改正する条例について			上毛町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	上毛町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	上毛町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和6年度上毛町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	令和6年度上毛町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	令和6年度上毛町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	令和6年度上毛町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	令和6年度上毛町一般会計補正予算(第10号)	令和6事業年度上毛町土地開発公社の事業報告、決算及び精算結了について	上毛町教育委員会教育長の任命について	令和6年度上毛町一般会計補正予算(第9号)	工事請負契約の変更契約の締結について(垂水・大ノ瀬線道路改良工事)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	渡辺 哲也	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大石 光一	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高西 正人	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	岩花 寛之	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	廣崎 誠治	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本理一郎	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮崎 昌宗	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	峯 新一	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	三田 敏和	
○	○	○	○	○	×	×		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	茂呂 孝志	
○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	田中唯登志	
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決		可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意	可決	可決	議決結果

※議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席

※議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席



「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めることです。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。

議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。

全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますのでご覧ください。

第1回定例会一般質問(3月6日(木))

たかにし まさと
高西 正人 議員

トライアルとの実証実験は

企画開発課長 **お互いの目的一致ならば検討**



問 トライアルを誘致した目的は。
企画開発課長 スーパーなど商業施設は、町の長年の課題であり、町民の要望でもあった。また、雇用が創出され、法人住民税や固定資産税の増加、移住定住決定の大きなポイントとなるメリットがあるため。

問 トライアルという会社をどのように認識しているか。
企画開発課長 全国に300店舗以上の大型ディスカウントストアを経営しているということ以外にも、IT企業という側面や、ゴルフ場やホテルの経営も行っている。最近では、福岡県宮若市と協力し、リモートワークタウンムスブ宮若という、まちづくりプロジェクトも行っていると認識している。

問 地方消滅、未来の年表、未来の地図帳などの書籍で、これらの日本は、類を見ない早さで人口減少が進むと言われているが、本町の人口減少の現状は。
企画開発課長 合併以降、減少傾向が続いている。令和に入り、元年32人、2年42人、3年83人、4年103人、5年130人、6年119人と減少しているが、消滅可能性都市には入っていない現状である。

問 住民のために、トライアルと連携した実証実験は考えられないか。
企画開発課長 実証実験の優先順位としては、まずは道の駅や大平楽などの町内資源を活用した連携を考える必要があると判断する。また、連携事業はお互いにメリットがなければ上手くいかないため、今後目的が一致する場合には検討していきたい。

問 ボランティア連絡協議会の外出支援では、需要と供給のタイミングが合わずに、上手くいかないようなことも発生する。また、若い人たちも必ず年をとっていく。このような環境に対し、自動運転やドローン配送などの実証実験を行ってみてはどうか。
企画開発課長 調査した中で、



トライアルが自動運転やドローン配送の実証実験を行っているケースは見当たらなかった。自動運転は地域交通対策、ドローン配送は高齢者の買い物対策や災害時の物資供給などの課題に対し有効であるとは考える。しかし、相手に取ってもメリットがないと連携事業は難しいと思われる。

ひろ さき せい じ
廣崎 誠治 議員

屋外体育施設改修の進捗は

教務課長 **前向きに検討している**



▶ 視察先のテニスコート

問 以前の答弁では改修の検討を進めているとのことだったが、その後の進捗は。
教務課長 令和3年度から6年度にかけ、情報収集のため8ヶ所の屋外施設の視察に行った。

問 視察を行い大まかな青写真は描けてきているか。
教務課長 計画では、4面あるテニスコートをクレー(土)から

屋外体育施設の整備計画は

オムニ(人口芝)に改修し、Bグラウンドを人工芝化し、サッカーやフットサルなど多目的に利用できる整備案を考えている。

問 概算費用はどれくらいか。
教務課長 設計、工事費、運営備品を含んで約11億円を見込んでいる。

問 補助金の見込みは。
教務課長 スポーツ振興助成金のほか社会資本整備総合交付金など、補助対象となるメニューの検討を進めている。

問 実現はいつ頃になりそうか。
教務課長 整備について前向きに検討しているが、財政などの関係課と協議を進めながら、予算、優先順位、費用対効果などを総合的に検討しているため、実現時期は現段階では示せない。

問 テニスコートや芝生のグラウンドの整備が出来れば、各種大会の開催により町の宿泊施設や娯楽施設の利用や交流人

口の増加につながる。早めの改修をお願いしたいが町長の考えは。
町長 時期や予算をしっかりと見極めたい。ふるさと納税などの税収が上がれば早期の実現も可能であり、財源の確保に向け各課連携して進めていくので議員各位も協力してもらいたい。

今後のコメ作りは

問 昨夏から米不足による価格上昇が問題になっているが、令和7年度産の作付目標面積は。
産業振興課長 上毛町の主食用コメの目標面積は471.6ヘクタールであり、昨年比1.6ヘクタールの増である。

問 令和6年の作況指数は。
産業振興課長 全国で101、県全体で98、上毛町を含む北九州北東部は94である。

問 今年も猛暑が続けば出来高は少なくなる。上毛町の主

要産業は農業であり、米の作付面積を増やすための抜本的な対策を国に働きかけることはできないか。
町長 先ずはコメ離れからの脱却を検討していく必要がある。有機農法で米のみならず、野菜、フルーツなど、様々な商品の価値を上げ、売れるものを作るためにやるべきことをやり、お願いするべきところはお願していく方向で考えている。

問 米作りに欠かせない農業機械に対して、全国の様々な自治体が小規模農家への補助を行っているが、上毛町も行う考えは。
産業振興課長 小規模農家に対する補助事業の創設については国、県の補助事業を勘案し、全国の先進的で有効な事例を参考にしながら検討していきたいと考えている。

※その他、防犯カメラの設置増対策の質問も行った。



もろ たかし
茂呂 孝志 議員

小中学校体育館エアコン設置は

教務課長 国県近隣自治体の情報収集を進める

▶上毛中体育館



図 近隣自治体や県内の状況は。
教務課長 近隣自治体では新設した行橋市の1校のみで、現時点では既存の体育館にエアコン整備を予定している自治体はない。県内での設置率は3%となっている。

図 避難所の環境改善の観点から学校体育館のエアコン設置を急ぐべきと考えるが町の考えは。
教務課長 避難所になっている南吉富小学校、上毛中学校など、今後整備方針、整備計画を検討する時期が来ると考えている。

体育館に エアコン設置を

焼却灰の最終 処分場の管理は

図 町内にある焼却灰の最終処分場の埋立て終了から2年が経過するが現在の管理状況は。
住民課長 土地の所有、管理責任については豊前市外2町清掃施設組合になり、跡地の取扱いについては決定していない状況にある。

図 全国の産廃処分場周辺から発がん性物質であるPFASが検出されているが検査項目に入っているか。

避難所交付金の 活用は

図 自治体の避難所の生活環境改善や防災・減災対策に対し、昨年12月に国が予算化した交付金を活用すべきではないか。
総務課長 避難所に関わる物資などの購入に際し活用できる交付金があれば検討している。

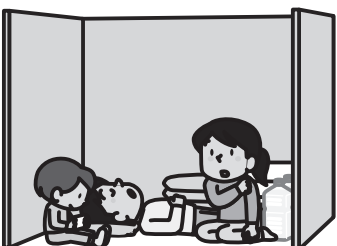
図 町内に直接の管理責任はないが、住民の健康被害が及ぶのではないかと対策をする必要があるのではないか。
住民課長 清掃施設組合に伝え、安全について十分に協議していきたい。

図 管理責任のある清掃施設組合に検査項目の追加要望をできないか。
住民課長 現在、国際的に基準値の検討が進められている段階にあり、今後何らかの指針が示されると考えている。

住民課長 現在の検査項目には入っていない。

図 プライバシー確保のための備品の状況は。
総務課長 仮設テント10台、ワンタッチのパーテーションを150台整備している。

図 仮設の入浴設備の整備状況は。
総務課長 現時点では整備していない。



みや もと り いち ろう
宮本 理一郎 議員

第二次総合計画の進捗は

町長 動向を見据え進めて行きたい



図 第2次総合計画・後期基本計画における、将来の活性化・地域産業の再活性化、住民の生活向上など現状を分析し、補う施策の構築は。

企画開発課長 実施計画については、3年間のローリング方式で毎年見直している。後期計画は、施策の実施状況、成果を評価して必要な施策の追加、修正などを行うことで「みんなが輝くまち上毛」の実現を目指している。

図 企業や住民に対し、コロナ禍に於ける緊急支援資金など、独自の支援策と実績は。

企画開発課長 企業には国が提唱した新しい生活様式に対応するために必要な改修及び備品の購入に対し、補助率10分の10の20万円を限度額とした補助を行った。実績としては45店舗、総額78万4千円になる。

総務課長 住民には生活応援金として、一人当たり2万円を7626人に支給。総額は1億5252万円である。

図 高齢化率の現状は。
企画開発課長 高齢化率（65歳以上）は、直近の一月末で、全体は37.4%、新吉富地区で32.7%、大平地区で43.45%である。

図 若年層の定住促進、分譲地開発、空き家活用など住環境の整備、子育て、教育環境の充実を掲げているが、その進捗は。

企画開発課長 分譲地開発は、新吉富保育所横の町有地を住宅地として売却し、今年中に公募を開始する。また、空き家の利活用は、サテライトオフィスの企業と連携し、空き家の活用を推進していく。

図 少子高齢化の進行、環境整備など、2040年人口一万人構想に向けての現状は。

町長 人口はまだ減少しているが、スーパーの進出などで土地が動きだしている。若年層のニーズに応えるべく、景観、町並みを形成するようなモデルを創りながら町全体に波及するように進めていきたい。



▲タイ王国の寺院

図 国際交流は実績も上がり、素晴らしい事業だと思う。現状はタイ国一國に集中しているが他国にも目を向ける考えは。
町長 国際交流が良い形で継続しているのは、ブレずに粘り強く継続してきた結果が、今、花開いていると思う。もう少しステップアップするまでは他に目を向けず交流して行きたい。

図 今後の本町のあるべき方向性についての考えは。
町長 人口減少という厳しい風の吹く中、各種施策を講じながら、活発に前に進めていく。人材不足も有るが、大人がしっかり働く姿を次世代に見せることが、一番の教育だと思っている。我々も粘り強く、国際交流を含め進めて行きたい。

子育てのしやすさを求め移住し、自然景観に癒やされ定住 10年間で1336世帯2903人移住(現人口の約13.3%)

2月18(火)、総務産業建設常任委員会で豊後高田市の「移住定住政策」について、視察研修を行いました。豊後高田市は、人口21,716人(令和6年1月末)、高齢化率38.1%、上毛町と同じく、今年合併20周年を迎えますが、人口増と新たな観光振興を掲げ、浅く広く支援金・補助金施策を実施し、県内及び近郊からの移住が増え、11年連続の社会増を達成。令和6年4月、人口戦略会議の公表で、前回調査より13.1ポイントの改善が見られ、「消滅可能性自治体」から脱却しています。支援策総数186にのぼる、施策の一部を紹介します。



①移住支援策

- **空き家バンク制度:現在110件の登録** (空き家リフォーム制度上限40万円など)

②子育て支援(国に先駆け実施)

- **高校生:医療費無料、中学生:給食費無料、子育て応援誕生祝い金:最大200万円など多岐にわたる**
- **学びの21世紀塾**

大分県内トップクラスの学力を支える無料の市営塾、完全学校週五日制が始まった平成14年にスタートし、現在は中3から高3まで拡充。指導者は157人(市民など75人、教職員など82人)。

- **寺子屋講座** (幼・小・中の英会話・国語・算数・数学・そろばん・合唱など)
- **パソコン講座** (小学生対象のパソコン実習講座)
- **水曜日講座** (全中学校1・2年生で水曜日の放課後、毎週実施)
- **夏季・冬季特別講座** (中学3年生対象の7日間の集中講座)
- **寺子屋昭和館・プラチナ館** (小学4・5・6年生対象の放課後補充学習)
- **無料塾(うみね)** (高田高校生のための大学進学などのための塾。平日21時まで開講)

③住宅施策

- **定住促進団地:2団地(99区画)発売開始2年で完売** (45歳以下、リース制度あり)
- **定住促進無償宅地:2団地(42区画)残り2区画**

今回の研修を終え、地域・保護者、行政、教職員など市民が一体となった取り組みを実感しました。上毛町においても実施可能な施策もあり、今後議論を深めたいと考えています。

豊築地区自立支援協議会報告会

だれもが安心して暮らせるまちづくりを

2月20日(木)、吉富フォーユー会館で開催された豊築地区自立支援協議会報告会に参加しました。

豊築地区自立支援協議会は、障がいのある方への支援整備を図るため、1市3町(豊前市、築上町、吉富町、上毛町)で共同設置されています。障害福祉に携わる機関が連携して地域力を上げるための活動を行っています。

報告会では、相談支援部会・こども部会・就労支援部会の活動報告、厚労省の虐待防止専門官・障害福祉専門官の松崎貴之氏による「地域における障害者虐待防止の取り組みについて」の基調講演がありました。

虐待防止のためには、早期発見と適切な対応が不可欠であり、地域住民や関係機関が連携して情報を共有していくことが重要です。また、研修や啓発活動を通じて、地域の理解を深めることも求められています。

地域のつながりを強化し、より良い支援体制を築いていくために、私たちも積極的に参加し、だれもが安心して暮らせるまちづくり、地域の発展に貢献していきたいと思います。



医療的支援児に対する町の対応は

長寿福祉課長 関係機関と連携し対応していく



医療的支援を必要とする子どもの対応は

**図医療を必要とする子どもに
対し、支援及び定義は。**

長寿福祉課長 令和3年6月に交付された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」で定義され、医療的ケア児と呼ばれている。

図定義された範囲は。

長寿福祉課長 18歳未満及び、18歳以上で高等学校などに在籍する者で、呼吸器や経管栄養管理、喀痰(かくたん)吸引、体位変換、体温・血圧確認、導尿、服薬管理などの医療的支援となる。

図子どもが犠牲になる事案がある。犠牲を出さない国の支援は。

長寿福祉課長 医療的ケア児支援法では、新生児集中治療室などから在宅への円滑な移行支援、地域の生活基盤整備、在

宅支援、医療的ケア児を受け入れられる障がい児通所、保育園、学校などの基盤整備による社会生活支援、経済的支援が行われている。

図町に求められている支援内容、責務は十分か。

長寿福祉課長 支援体制は、現時点では必ずしも十分とはいえないが、必要に応じて県や関係機関と連携し対応したい。

図支援を受ける子どもの保育所入所希望が出た場合、町立保育所の対応は。

子ども未来課長 現在、町立保育所の職員は保育士任用で、対応するには准看技師以上の資格が必要となる。保護者に支援内容を十分聞き取り、どこまで町が対応可能かを踏まえて判断しなければならない。

図近隣で受入可能な事業所は。子ども未来課長

子ども未来課長 豊前築上1市3町で、豊前市に多機能型事業所が1か所ある。体制が整っており、保護者、事業所の間に行政が入り、調整がつけば入所

は可能である。

図在宅で日常的に介護する家族に対する支援は。

長寿福祉課長 利用訪問介護ステーションが行う訪問看護に係る費用を助成する医療的ケア児レスパイト事業があり、家族の負担軽減になると考えている。

図家庭用、施設用と2台の車椅子が必要な場合がある。補助は。

長寿福祉課長 基本的には1台が対象となるが、考えたい。

基金の運用は問題ないか

図直近の基金運用推移は。

会計管理者 財政調整基金は22億から23億で推移。減債基金は11億程度で、その他の基金を合わせて、5年度末で91億7200万円になる。

図基金運用の内訳は。

会計管理者 基金は80億を基

本に、半分の40億円を債券運用(内訳は国債、地方債、政府保証債など、期間は10年から最長30年)残りは定期預金と若干の普通預金になる。

図債券運用の開始時期は。会計管理者

図債権運用益は。会計管理者 5年度の決算で、2800万円程度である。

図運用益もあるが、金利上昇による含み損もある。どの程度か。会計管理者

図他自治体で問題視しているが影響はないか。会計管理者

図他自治体で問題視しているが影響はないか。会計管理者 段階的に分散して購入し、満期で元本保証がある。基金の半分以上定期預金で流動性は十分確保出来ている。